

防災意識を高めました

白石市総合防災訓練

6月9日、白石市総合防災訓練を市内の指定避難所などで実施し、市民など約2,300人が訓練に参加しました。「午前8時、白石市内で震度6弱の地震を観測した」という想定のもと、各自主防災組織や自治会が中心となり、一時避難・安否確認訓練や避難所開設・運営訓練、災害時に使用する備品や災害用無料公衆電話の設置・使用訓練などが行われました。

また、陸上自衛隊による物資輸送訓練や断水時給水訓練、仙南第一LPガス協議会による炊き出し訓練、白石警察署による防犯講話、消防署によるヘリコプター救助訓練や消防団との初期消火訓練・救急救命訓練、東日本ICT推進協議会によるドローンを使った災害映像伝達訓練などを実施しました。

本市では今後もこうした訓練を通じ、地域の安全・安心を守るべく、災害に強いまちづくりを推進していきます。



1_タンク車を用いた給水訓練 2_福祉車両の体験訓練。足が不自由な方の移動手段になります 3_旧白川中学校屋上で行われた防災ヘリコプターによる救助訓練

花を通して交流を深める

上郡山地区で花の植栽

5月25日、上郡山地区の国道113号沿いにある「ふれあい花壇」で地区住民による植栽活動が行われました。この活動は花による美化活動を通じて、子どもと大人が交流することを目的に開催されています。

この日は約100人が参加し、マリーゴールドやサルビア、ペチュニアの花の苗を約1,200株植えました。参加したおさんは「きれいな花をたくさん植えたので、ここを通るときが楽しみです」と話してくれました。



▲花壇に色とりどりの花を植える参加者

緑のカーテンづくり

南保育園でゴーヤの苗植え

5月20日、南保育園で園児がゴーヤの植え付け作業を行いました。この取り組みは、園庭にゴーヤを植えて緑のカーテンを作り、夏場の保育室の気温上昇を抑えようとするもの。4歳児と5歳児36人が参加し、園舎の東側と南側にゴーヤ苗36本を植えました。成長したゴーヤは8月下旬に収穫し、給食や家庭で味わったり、近所の方に配ったりする予定です。園児たちは「土の中に植えるのが楽しかったです」と話してくれました。



▲ゴーヤを植える園児たち

食味日本一の「しろいし米」を復活

ササニシキ田植え・仙台三越で店頭販売

5月26日、大平中目で、食味日本一「しろいし米」復活プロジェクトによる田植え作業が行われました。このプロジェクトは、かつて食味日本一を獲得した白石米「ササニシキ」を復活させようと平成28年3月に活動を開始。現在農家9人が市内各所で栽培に取り組んでいます。今年は7.7haに作付けし、約32トンの収穫を予定。収穫した米は、おもしろいし市場での販売のほか、市内の旅館や飲食店での提供を予定しています。代表の村上賢さんは「これまでの経験で栽培技術は上がってきています。より多くの人においしさを伝えていきたいです」と話してくれました。

また、6月5日から8日まで、仙台三越で白石産ササニシキを店頭販売。ササニシキ生産者と地域おこし協力隊の竹田祐博さんなどが、販路拡大を目指し、お客さんと直接話をしながらPRに取り組みました。



1_ササニシキの田植えの様子 2_仙台三越での販売に参加した生産者の木須敏文さん(左)と竹田さん(右) 3_店頭では試験的にササニシキの玄米も販売しました

笹のかおる白石の伝統食

武家屋敷で「笹巻きの会」

6月16日、武家屋敷で「笹巻きの会」が開催されました。笹巻きは、子どもたちの健やかな成長を願い作られる白石の伝統食。ヘルスメイト白石の協力を得て、毎年武家屋敷で笹巻きの試食や巻き方体験が行われています。

この日は武家屋敷を訪れた50人が、笹の持ち方など、基本から教わりながら巻き方を体験。参加者は「三角形のきれいな笹巻きをつくれました。普段は食べるだけだったので、いい体験ができました」と話してくれました。



▲笹の葉を丸めてもち米を入れる参加者